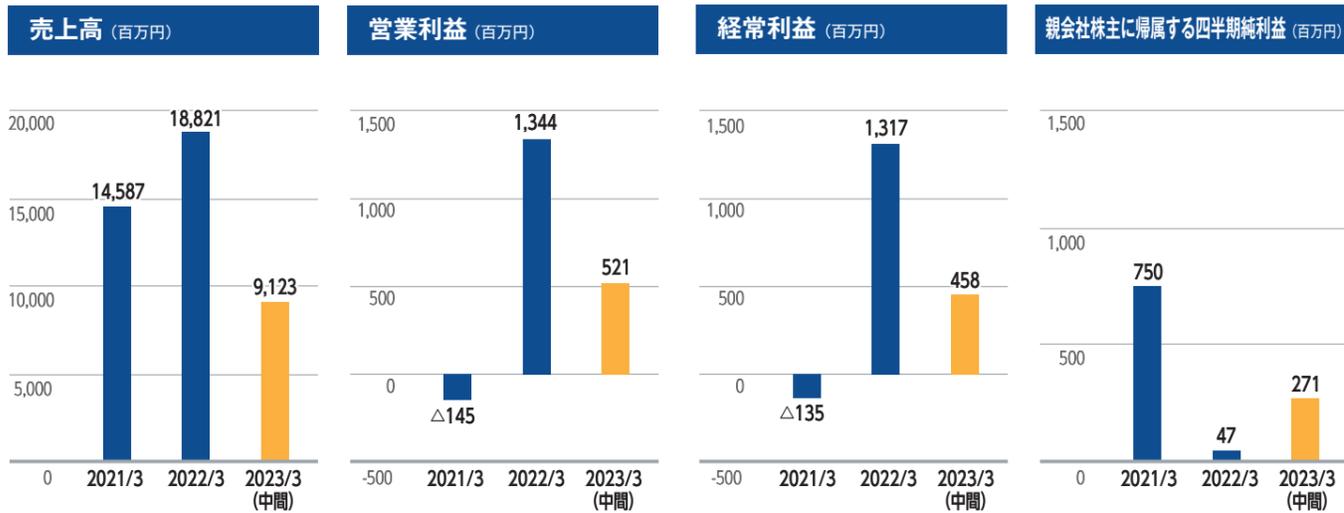


連結財務ハイライト



会社概要 / 株式の状況

会社概要 (2022年9月30日現在)

商号	ヤマシンフィルタ株式会社 (旧 山信工業株式会社) (英文名称 YAMASHIN-FILTER CORP.)
所在地	〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町1-1-8 日石横浜ビル16階
設立	1956年4月
事業内容	建設機械用フィルタ・産業用フィルタ・プロセス用フィルタ及び関連部品の製造・販売、ナノファイバーの開発・製造・販売
資本金	6,499百万円
代表者名	山崎 敦彦
従業員数	単体: 168名 連結: 830名
認定・取得	ISO9001:2015 (JIS Q 9001:2015) 認証取得 ISO14001:2015 (JIS Q 14001:2015) 認証取得

株主メモ

上場市場	東京証券取引所プライム市場
上場日	2014年10月8日 (東京証券取引所市場第二部)
証券コード	6240
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎事業年度終了後3ヵ月以内
基準日	定時株主総会については3月31日
配当の基準日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社
連絡先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 Tel: 0120-288-324 (通話料無料) (受付時間: 土日祝祭日等を除く 平日午前9時～午後5時) 株式に関するお手続き (みずほ信託銀行) https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html
株式の売買単位	100株
公告掲載URL	公告は電子公告により行います。 http://www.yamashin-filter.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株式の状況 (2022年9月30日現在)

発行可能株式総数 203,580,000株
発行済株式の総数 71,567,384株
株主数 22,620名

株主名	所有株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社やまびこホールディングス	12,055	16.8
株式会社あさまホールディングス	12,000	16.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	4,747	6.6
山崎 裕明	2,048	2.8
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	2,021	2.8
山崎 敬明	2,017	2.8
株式会社みなとホールディングス	1,800	2.5
JP MORGAN CHASE BANK 385650	1,286	1.7
山崎 敦彦	1,129	1.5
野村信託銀行株式会社 (投信口)	1,126	1.5

(注) 持株比率は自己株式988株を控除して計算しております。

株式等に関するマイナンバーお届出のご案内

2016年1月から、社会保障、税、災害対策の行政手続きにおいてマイナンバーの利用が開始されています。
株式等の税務関係の手続きでもマイナンバーが必要となりますので、株主様のマイナンバーについては、お取引の証券会社等へお届出ください。

《上場株式等をお持ちの株主様》
証券会社等にて株式等を管理・購入・取引されている場合には、証券会社等へお届出いただく必要がございます。お手続き方法など詳細につきましては、証券会社等へお問い合わせください。
※不動産投資信託 (REIT)、ETF、JDR等の国内証券取引所に取引される株式以外の金融商品も含まれます。

《未上場株式をお持ちの株主様》
ご所有の株式の発行会社または株主名簿管理人にお届出いただく必要がございます。お手続きの詳細につきましては、株主名簿管理人にお問い合わせください。

マイナンバーを記載する主な支払調書
* 配当金等に関する支払調書
* 単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

マイナンバー制度とは、国民一人ひとりに配布された番号によって、複数の行政機関に存在する個人の情報を正確に連携させるための社会基盤です。
(行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律 (平成25年5月31日法律第27号))

マイナンバーの取扱いについて
マイナンバーの取扱いは、法律により厳格な保護措置が設けられており、利用範囲は社会保障・税・災害対策の行政手続きに限定されています。

マイナンバーの提供について
お届出が済んでいない株主さまは、下記お問い合わせ先へマイナンバーのお届出をお願いします。

マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

- 証券口座にて株式を管理されている株主さま …お取引の証券会社までお問い合わせください。
- 証券会社とのお取引がない株主さま …下記株主名簿管理人のフリーダイヤルまでお問い合わせください。

みずほ信託銀行 証券代行部 フォンダイヤル 0120-84-0178



第68期 中間株主通信

(2022年4月1日～2022年9月30日)



ヤマシンフィルタ株式会社

証券コード: 6240

株主の皆様へ

ここに第68期中間株主通信 (2022年4月1日から2022年9月30日まで) をお届けいたします。

当社は建設機械フィルタの専門メーカーとして70余年に及ぶ実績をもち、建設機械メーカーとともに性能・品質の向上にまい進してまいりました。昨今におきましては、当社独自のナノファイバー技術を活用した新規事業領域への参入を進めており、エアフィルタ等への提供を開始しております。

常に最高品質のフィルタを広く社会に送り出し、フィルタビジネスを通じて社会に貢献するという経営理念のもと、挑戦し続ける企業を目指してまいります。

引き続き、株主の皆様のご期待に応える努力を続けてまいりますので、より一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2022年12月



代表取締役社長執行役員 山崎 敦彦

仕濾過事
ろかじにつかふる

連結貸借対照表

(単位: 百万円)

科目	前連結会計年度末 (2022年3月31日)	当第2四半期末 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産	13,964	13,999
固定資産	12,747	12,610
有形固定資産	11,609	11,594
無形固定資産	236	177
投資その他の資産	901	838
資産合計	26,712	26,609

(単位: 百万円)

科目	前連結会計年度末 (2022年3月31日)	当第2四半期末 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債	4,634	4,397
固定負債	1,506	1,287
負債合計	6,140	5,684
純資産の部		
株主資本	20,255	20,403
その他の包括利益累計額	315	521
純資産合計	20,571	20,924
負債純資産合計	26,712	26,609

連結損益計算書

(単位: 百万円)

科目	前第2四半期 (2021年9月30日)	当第2四半期 (2022年9月30日)
売上高	9,556	9,123
売上原価	5,547	5,607
売上総利益	4,008	3,515
販売費及び一般管理費	3,120	2,994
営業利益	887	521
営業外収益	17	21
営業外費用	28	84
経常利益	876	458
特別利益	10	1
特別損失	268	17
税金等調整前四半期純利益	618	442
法人税等	289	171
四半期純利益	328	271
親会社株主に帰属する四半期純利益	328	271

Q1 2022年第2四半期(当四半期)の業績と取り組みについてお聞かせください。

A1 当社グループの主力事業である建機用フィルタ事業では、北米市場において金利上昇と材料不足の影響により住宅着工件数が減少傾向にあるものの、需要は底堅く推移しました。日本、欧州、アジアなど主要地域においても、需要は前期から減少傾向にあるものの、建機の稼働時間と新車需要は堅調に推移しました。一方、中国市場におけるロックダウンの影響等により、当四半期における当社の売上高は減少いたしました。また、利益面では、価格転嫁の実施により収益性は回復傾向にありますが、アルミや鋼材等の主要原材料価格、海上輸送費の高止まりの継続、急激な円安の影響により減益となりました。

当社グループは、引き続き環境負荷低減に貢献するロングライフのフィルタ製品やタンク内の気泡を除去するエアレーション技術、フィルタの汚染度や交換頻度を感知するセンサ技術を搭載した高付加価値フィルタ製品の主要得意先への提案を進めており、各建機メーカーの新機種への製品供給が順次開始されています。

また、主要市場である北米市場では、世界最大手建機メーカーに対する当社の燃料用、トランスミッション用フィルタ等の新規提案・採用が進展しています。一方、減益要因となっている物流コストや原材料価格の高騰、為替変動に対しては、価格転嫁を実行するとともに、原価改善プロジェクト「PAC22」の推進、サプライチェーンの見直しや生産地移管によるグローバル生産供給体制の構築により、原材料調達安定化と物流コストの低減を図ります。また、為替変動リスクのヘッジ手段として、為替予約を含めた効果的な手段をタイムリーに実行することでリスクの最小化を図り、激変する外部環境変化への適応力を強化し、収益性の改善に努めてまいります。

エアフィルタ事業では、主要製品であるビル空調用フィルタの交換需要は回復傾向にあり、売上高は増加しました。利益面では、原材料価格の高騰に対して価格転嫁の実施、生産効率の向上、経費削減効果により、増益となりました。また、新たにロングライフであり低圧損、高捕集率のナノファイバー製エアフィルタ「NanoWHELP」や溶菌・酵素エアフィルタのオフィスビル、病院、工場、鉄道車両等への採用は着実に進展しており、さらなる収益の改善が見込まれます。今後、欧米市場でのエアフィルタ性能の規格(米国規格ASHRAE、欧州規格EN等)を取得し、海外市場の開拓にも取り組んでまいります。

以上の結果、当四半期の売上高は91億23百万円(前年同四半期比4.5%減)となり、営業利益は5億21百万円(同41.3%減)、経常利益は4億58百万円(同47.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億71百万円(同17.4%減)となりました。

Q2 2023年3月期(通期)の業績予想と取り組みについてお聞かせください。

A2 建機用フィルタ事業では、前回通期の業績見通しを公表した2022年5月13日時点と比較し、主要得意先の生産活動や建機の稼働時間は、中国を除く日本、米国、欧州、アジアといった主要市場においては、前期と比較し減少傾向にあるものの、需要は引き続き高水準で推移しており、今後についても堅調に推移することが見込まれます。一方で、欧州での地政学リスクを背景としたサプライチェーンの混乱に伴う物流コストと鋼材・アルミ材など主要原材料価格の高騰は、足許では調整局面を見せるものの高止まりが継続しており、日米金利差拡大に伴う急激な円安の進行が拍車をかけ、当社の業績に大きな影響を及ぼしています。

一方、エアフィルタ事業では、主要製品であるビル空調用フィルタの交換需要は回復傾向にありますが、通期では前回公表値をわずかに下回る見通しです。利益面では、原材料価格の高騰に対して価格転嫁を実施したことや生産効率の向上や経費削減効果により、増益が見込まれます。これらの予想を鑑み、2022年5月13日に公表しました通期業績予想の修正を行いました。

その結果、通期の業績は、売上高192億30百万円(前期比2.2%増)、営業利益13億80百万円(同2.6%増)、経常利益12億40百万円(同5.9%減)、親会社株主に帰属する当期純利益8億55百万円(前期は47百万円)を予想しています。

なお、2023年3月期の想定為替レートにつきましては、米ドル145円、ユーロ144円に変更いたします。今後、市場環境の変化が業績等に影響を与える場合には速やかに開示いたします。

Q3 最後に株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A3 当社の利益配分に関する基本方針は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置づけたうえで、将来の成長に向けた戦略的投資に必要な内部留保の充実と連結配当性向、配当利回り、総還元性向並びにDOE(株主資本配当率)を踏まえた利益還元とのバランスを勘案して決定することとしております。上記の基本方針ならびに当社を取り巻く経営環境等を総合的に勘案し、中間配当については1株につき3円とすることとし、期末配当予想については1株につき3円とします。これにより、年間の配当予想は6円となる予定です。株主の皆様には今後とも末永いご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしく申し上げます。

IR伝言板

株主優待制度の変更に関するお知らせ

当社では、株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社事業により一層のご理解を賜ることで、さらに多くの皆様に中長期的に当社株式を保有していただくよう、株主優待制度を導入しております。

今般、株主の皆様からの多くのご要望を頂戴しておりますことに加えて、当社技術への一層のご理解を企図し、下記の通り株主優待制度を変更させていただくことといたしました。

現行の株主優待内容

保有株式数	優待内容
200株以上保有	Zexeed 3枚入り1パック

変更後の株主優待内容

保有株式数	優待内容
200株以上保有	Zexeed 3枚入りパック+究極のヤマシン・フィルタシート30枚入り1パック



株主の皆様におかれましては、今後とも倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしく申し上げます。

フィルタビジネスを通じた社会的課題解決



サステナビリティ方針の策定 & マテリアリティの特定

当社は、創業以来、半世紀以上社としてきた「仕濾過事」(フィルタビジネスを通じて社会に貢献する)を、当社グループのサステナビリティ方針として掲げることを決定しました。これからも、当社グループの事業活動が社会や環境に及ぼすプラスおよびマイナスのインパクトを考慮しながら、さまざまなステークホルダーから寄せられる期待や関心を受容するESG経営を推進してまいります。

サステナビリティ方針

「仕濾過事(ろかじにつかふる)」
フィルタビジネスを通じて社会に貢献する

ヤマシンフィルタは「仕濾過事(ろかじにつかふる)」の社是のもと、サステナブルな社会の実現に向けて、フィルタビジネスで培った強みを生かし「環境」「空気」「健康」に関する社会課題の解決に貢献してまいります。

マテリアリティ	コミットメント		
環境	気候変動への対策 気候変動対策・脱炭素社会への貢献 ■世界全体で求められるカーボンニュートラルの実現に向け、製品と生産の両面で気候変動対策に資するビジネスモデルを実現する	●TCFD提言への対応を通じた取り組み促進 ●再生可能エネルギー由来電力導入拡大	
	付加価値を有する製品の設計	環境配慮型製品の創出	
	資源循環・環境負荷低減への取り組み フィルタ技術による環境負荷低減と循環型社会への貢献 ■資源循環と環境負荷低減に着目し、バリューチェーンを通じて経済効率と環境効率の高いビジネスモデルを実現する	●廃棄物排出削減 ●水使用量の削減	
空気・健康	人々の健康で安全な暮らしへの貢献 大気汚染による健康被害の抑止～安心・安全な暮らしへの貢献 ■フィルタ技術で、大気汚染やPM2.5による健康被害から人々を守る ■フィルタ技術で、室内の空気の質をより高める ■フィルタ技術の高度化・高機能化により、感染症による疾病から人々を守る	健康リスク低減製品の提供	
	フィルタ技術の革新と新たな社会課題への貢献	技術の研鑽と応用～社会が求めるフィルタ技術の追求 ■独自の技術に応用し、新たな価値を創り出す ■独自の技術を研鑽し、世の中のないフィルタを生み出す	●新製品の開発 ●特許取得数 ●社会課題解決のための客先交流の実施 ●研修への参加
人・仕事	働きがいのある職場づくり	働きがい、活躍する人材～「仕濾過事」の実践 ■お客様、仲間、家族に感謝し感謝される、働きがいのある仕事をする ■多様な人材が力を発揮できることを目指し、ワークライフバランス、ダイバーシティ、人材育成、労働安全に配慮した職場づくりを行う	●経営理念「仕濾過事」の社員への浸透 ●テレワーク実施率 ●女性管理職比率 ●社員1人当たりの研修時間 ●重大労働災害0件
	人権マネジメントの推進	人権デュー・ディリジェンスの推進～社会から信頼される企業へ ■バリューチェーン全体で人権を尊重し、企業としての責任を果たす ■バリューチェーン全体を通じた人権デュー・ディリジェンスを推進する	●人権尊重のための体制整備 ●主要サプライヤーへの人権含むESGに関する調査実施率

News & Topics

『サステナビリティレポート 2022』をリリースしました。

2022年版のサステナビリティレポートをリリースしました。当社グループのサステナビリティへの取り組みについて、投資家やお客様といった全てのステークホルダーの方々にご理解いただくことを目的として、昨年から「サステナビリティレポート」を発行しています。本レポートでは、コーポレートサステナビリティの強化に向けて、企業理念である「仕濾過事(ろかじにつかふる)」に基づいた、フィルタビジネスを通じた社会課題の解決に向けた具体的な取り組みについてお示しています。

URL
<http://www.yamashin-filter.co.jp/ja/sustainability/data.html>

